

久留米大学を受診した患者さんへ

「久留米大学病院入院中作業療法を実施した患者さんの事例検討」の研究に使用する資料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：26年11月1日～26年12月10日
- 2) 受診科：リハビリテーション部
- 3) 対象疾患・障害名：高次脳機能障害を呈した脳疾患患者さん
- 4) 使用する資料：リハビリテーション診療時の理学所見・神経心理学検査所見

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：リハビリテーション部
研究代表者：職名：作業療法士 氏名：原野 裕司
研究分担者：職名：作業療法士 氏名：枝松 知子
職名：作業療法士 氏名：山田 貴博

2) 研究の意義と目的：現在入院中に作業療法を患者さんに提供していますが、アプローチ方法など適正であったか他施設の同職種で事例検討を行い、多くの同専門職の方々から意見を頂き再度検証して診療技術サービスの向上を図ることを目的とします。

3) 研究の方法：診療録より抜粋し、個人情報に配慮しながら作業療法実施前後のデータを比較しながら提示し 意見交換を行います。

4) 研究期間：平成26年10月倫理委員会承認後～平成26年12月10日

5) 上記の資料の使用を選定した理由：

高次脳機能障害は、身体機能が改善しても日常生活に大きな問題を残します。急性期医療において早期に障害を評価して最善のアプローチにつなげることは必要ですので、高次脳機能に焦点をあてました。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

対象者の人権擁護と個人情報の保護については最善の注意を払います。対象者の方に対し、

事前に診療結果が研究等に利用される事は書面を用いて説明していますが、撤回があればお問合わせ先に連絡頂ければいつでも撤回できます。本研究より得られた知見は、勉強会にて事例を提示させていただく予定ですが、対象者は個人を特定できないよう匿名化してそのデータを守秘義務として取り扱い、本研究の目的以外で使用することはありません。資料等はすべて久留米大学病院リハビリテーション部での管理とします。

7) 研究成果の発表の方法：

事例検討の場で発表・意見を頂きますが、成果は日々の診療の中に活かして提供したいと思えます。

8) その他：

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名：原野裕司 所属：リハビリテーション部、職名：作業療法士)

(住所：久留米市旭町 67)

(TEL0942-31-7645) (FAX：0942-32-6278)

研究番号 14174